

沼田市は10万円一括給付へ

中学生以下は12月22日に振り込み

18歳以下の子どもたちに対するコロナ対策としての10万円の給付については、児童手当を受給している世帯には12月22日に10万円の現金一括給付が実施されることになりました。(すでに5万円給付するという通知は発送済みですが、訂正されます。)

申請が必要な高校生以上や新生児また、住民税非課税世帯には、できるだけ早く支給できるように取り組んでいるところです。



12月議会報告井之川博幸議員の一般質問その1

施設園芸など燃油価格高騰対策を



井之川博幸市議

井之川議員は、先週報告した「福祉灯油」の実施のほか、燃油高騰が大きく影響する施設園芸をはじめ、農業全般にも対策を進めるよう要求しました。

市長は、「利根沼田農業協同組合をはじめ関係機関と連携しながら把握に努めてまいりたいと考えております。」と答えました。

つづいて井之川議員は、原油価格や諸物価の高騰に対する対策について質問しました。

市長は、「産業全般にわたる大きな問題であることから、今後の国や県の対策の動向を注視するとともに、関係機関との連携を図りながら、対処してまいりたいと考えております。」と答えました。

(右斜め一番上の行につづく)



三峰山に投棄された土砂はまだ調査中

6～7月にかけて三峰山中腹に投棄された土砂について、500 m³を超えているので沼田市の土砂条例違反は間違いありませんが、その土砂が「産業廃棄物」にあたるかどうか、県の廃棄物リサイクル課が「調査中」とのことでしたが、いまだに結論が出ずにいます。「産業廃棄物」の場合は、県知事が処分を下さなければなりません。結論がなかなか出ないので、市も苦慮している状況です。井之川議員の質問に、市長は、「現在も現地に土砂が放置されている状態であることから、早期な対応が図られるよう、引き続き県と連携を密にしていきたいと思います。」と答えました。



いまだに放置されたままの投棄土砂

沼田市の存続のため子育て支援の強化を!

昨年の出生数は215人今年200人を割るか?

今年の新児の出生数は200人を割るのではないかとされています。6年後には、小学校が11校ありますが、30人以下学級にしても7クラスで間に合ってしまうような人数です。急激な人口減少の理由の大きな原因は、出生数の減少です。17年前に沼田市と利根村と白沢村で合併した翌年には、459人の新生児が誕生していました。たった16年で半分以下、100人台になろうとしています。なぜでしょうか?

日本はこの30年間経済的には横ばいから後退していると言われてはいますが、そのような状況なのに、この10年程は、富裕層の資産は4倍の24兆円に、大企業の内部留保は毎年増え続け484兆円に、一方働くものの実質平均賃金は、年間22万円減少し、格差は拡大する一方です。子育てに経済的支援は絶対です!

2021年12月19日 No.1044

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料